

主体的動揺をくり返す旧構改の残骸

主体と変革派の社民的本質

(下) 共産主義者同盟中央労働者組織委員会

「主体と変革派の社民的本質(上)」

- 序
- A「主体と変革」派形成過程の雑炊性
右翼構改からのみだし
- B党建設における自然発生性への屈服
下からの党建設の誤り

以上本紙7月3日(270号)に掲載

C 主権の資本主義観の小ブルシヨア性—スタクの誤謬の継承

「主権の資本主義観の小ブルシヨア性」は、資本主義の歴史的発展の過程で、労働者階級の意識が、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至るまでの過程を論じている。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

資本主義の発展は、労働者階級の意識の成熟を促す。労働者階級は、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至る。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

プロレタリア存在の把握における誤り

プロレタリア存在の把握における誤りとは、労働者階級の意識を正確に認識し、その発展を促すことである。労働者階級の意識は、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至る。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

「共産主義以前」的な思想状況と実践的日和見主義を打ち砕け!

「共産主義以前」的な思想状況とは、労働者階級の意識が、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至るまでの過程を論じている。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

実践的日和見主義を打ち砕け! 労働者階級の意識は、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至る。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

技術革新合理化に対する小ブル的把握

技術革新合理化に対する小ブル的把握とは、労働者階級の意識が、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至るまでの過程を論じている。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

技術革新合理化に対する小ブル的把握とは、労働者階級の意識が、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至るまでの過程を論じている。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

D 組合主義への埋没と自己否定運動の破産

組合主義への埋没と自己否定運動の破産とは、労働者階級の意識が、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至るまでの過程を論じている。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

経済主義への埋没の根拠—自己否定の原理

経済主義への埋没の根拠—自己否定の原理とは、労働者階級の意識が、資本主義の矛盾を認識し、その克服を要求するに至るまでの過程を論じている。この過程は、労働者階級の意識の成熟を意味するものであり、資本主義の危機を告げるものである。

「党の革命」の完遂と悪魔の第三次BUND建設めざして!

Ⅰ七〇年同盟活動の政治組織概括

Ⅱ国際・国内情勢

Ⅲ当面する我々の任務と方針

Ⅳ資料(戦旗より)

Ⅴ第二報告

共産主義

14号 定価400円 郵送料80円

Ⅰ 陰性の講壇派「復原均」鉄鎖を砕け! 論文批判 野田 晋

Ⅱ 「スターリン主義解体のため」における右翼合同反対派の雑炊学批判 室伏 讓二

Ⅲ 「世界プロ独の綱領的諸問題」のヤブ眺み世界プロ独論批判 向田 新

Ⅳ 混乱の関西風「過渡期世界論」総括! 批判 城山 徹

Ⅴ 武装蜂起を組織するために。召還主義との戦い 日向 翔

四月二十七日発売
東京都千代田区三崎町二七六
戦旗社振替(六一一〇〇)